

板橋区の 身近な会社が ホンキで取り組む SDGs

1 恵友印刷株式会社

2 森本鐵鋼産業株式会社

3 株式会社タニタハウジングウェア

4 株式会社ルケオ

5 株式会社三六工芸印刷社

6 株式会社恒食

7 アサヒボンド工業株式会社

8 株式会社フォーラム・ジェイ

9 株式会社草野工務店

10 合同会社マム・スマイル

手に取ってくれたみなさまへ

板橋区は令和4年度「SDGs 未来都市」に選定されました。
「東京で一番住みたくなるまち」を目指し、
そのために板橋区の中小企業の応援にも
力を入れています。

板橋区にある先進的な 10 社の中小企業が
SDGs の切り口で地域や社会にもっと役立ちながら、
自分たちの会社ももっと発展させていくために、
「ホンキの SDGs 経営計画」をつくりました。

このリーフレットを読んだみなさんが
みなさんの近くにある会社の取組を知って、
「一緒にやってみたいな」「わたしに何ができるかな」と
一緒に考えるきっかけになることを願っています。

●表紙・裏表紙にユネスコスクール加盟校、緑小学校のみなさまが
作成した「みどり小 SDGs かるた」をお借りしています。

板橋区は区内企業の SDGs 経営のサポートに取り組んで
います。このリーフレットに掲載された企業は、区のサポート
によって SDGs 経営を進めてきました、興味のある方はこちら
まで。



検索→ 板橋区 SDGs/ESG 経営推進支援事業

板橋区のお身近な会社が
ホンキで取り組むSDGs

令和 5 年 3 月 31 日発行
編集・発行 東京都板橋区
産業経済部産業振興課
☎03-3579-2172
173-0042 板橋区板橋 2-65-6
情報処理センター5 階

刊行物番号
R04-156



板橋区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

1 恵友印刷株式会社

Q1. 何を目標している会社なの？

グラフィックの力で視覚を通して人類の知と文化の営みに貢献する会社です。

紙の上に広がる無限の世界を大事にし、写真・絵・文章により、記録し、伝え、学び、探求し、豊かさを願って進歩してきました。

Q2. 今はどんな事をしているの？

絵本や書籍を出版する会社から依頼を受けて、デザイン、レイアウトを一緒に考え、色にこだわって印刷し、製本します。

それらは本屋さんを通して皆さんの手元に届きます。また、広告会社やデザイン会社から依頼を受けて、カタログ、パンフレットなどの印刷物を制作しています。



仕事に取り組む仲間たち

Q3. これから実現したいことは？

板橋区で、大人も子供も誰もが絵本作家になれる社会を作るために、「誰でもクリエイター事業」を始めます。

2030年までに100タイトル以上を販売し、その中から世界に羽ばたく絵本作家を1人登場させたいです。みなさんもぜひチャレンジしてください。

同時に、当社の事業による環境への負担を半分以下にしたいと思います。



Q4. どんなチャレンジをしていく？

絵本作りに関わる人たちが協力しあえるオンラインの仕組み「Petako(ペタコ)」を立ち上げ、ネットワークを拡げていきます。

板橋区や区立小学校と連携して絵本に関するイベントを行い、板橋区全体の絵本文化を盛り上げていきます。

また、絵本を作るときの紙やインクは、地球に優しいものをどんどん取り入れ、女性、外国人、障がいのある方が働きやすい職場を作っていきます。



代表取締役
萬上 孝平さん

Q1. 何を目標している会社なの？

みなさんは、将来どんな仕事に就きたいか、どんな活動をして社会の役に立ちたいか、思い描いたことがありますか。

私たちは、自分自身の未来の姿と社会の関係を考えるきっかけを創造する会社です。

Q2. 今はどんな事をしているの？

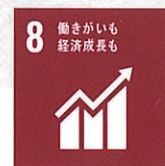
板橋で暮らすママが「子供を通わせたい」と思え、子どもと向き合う保育士が生き生きと働ける、そんな保育園を運営しています。

ママが取材・編集する子育て応援情報誌「イタバシーナ」の発行もしています。これらを通じて、育児に携わるママ達の社会参加を応援しています。

10 合同会社 マム・スマイル



社会復帰支援事業



Q3. これから実現したいことは？

- ①全国の保育園が当社のように、子どもと親・働く保育士のみんなが安心して通いたくなる場所になるよう、保育園の改革を実現したいです。
- ②行政や企業をつないで、育児中の女性の社会復帰を支える仕組みを実現したいです。
- ③多くの人が人生の節目で自分のキャリアについて考え、生涯教育の機会が増える世の中を実現したいです。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

- ①全国の保育園のリーダー向け研修を始めます。保育士が自信を持って働けるように、新たな保育の資格制度もつくります。
- ②子どもを持つママが育児と仕事を両立できるよう、他の会社と連携して仕事の紹介を行います。
- ③子どもからシニア層まで幅広い世代の人が誰でも、家庭と仕事の両方を通じて生き方を学べる場をつくります。



代表社員
坂東 愛子さん

9 株式会社 草野工務店



スケルトン階段のある
開放的なリビング

Q1. 何を目標している会社なの？

「家族が幸せになる家づくり」を目指しています。そして同時に、家づくりのために働いている人たちが、楽しむことを忘れず、人間らしく心豊かに生き、考え、学び、成長し続けることも目指しています。

Q2. 今はどんな事をしているの？

家づくりをしたいお客様から、お話をしっかり聞きながら、人工の素材ではなくホンモノの木で、家を建てたり修理したりしています。また、板橋の子ども達に向けて、木材を加工するとき余ったホンモノの木の端材(はざい)を使った「親子で楽しむ木工教室」を、職人さん達と一緒に開いています。

Q3. これから実現 したいことは？



これまでのお客様は、50～60歳代の方が中心でした。これからは、子供がまだ小さいご家族や若い方々にも、ホンモノの木を100%使った家で暮らして欲しいと願っています。そして、家族の幸せがもっとたくさん創られて、住みやすいまちになり、さらに多くの人たちが板橋区に住みたいと思うようになることを願っています。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

若い方々向けのデザインを取り入れ、インターネットで注文を受けられるようにします。そして、お子様にも安全な材料で建てた家を、手に届く価格で提供します。家を永く安心して使えるよう、定期的な点検と痛んだところの修繕、部屋の模様替えのお手伝いもします。また、ホンモノの木の良さを伝えるため、端材で作った木工品も販売したいです。

代表取締役
草野 雅史さん

Q1. 何を目標している会社なの？

当社の事業に関わるあらゆる年齢、すべての人が、健康的な生活を送れることを目指している会社です。年齢、性別、学歴などに関わりなく誰でもやりがいを持って生き生きと働き、仕事と社会貢献を通じて成長を実感しています。

Q2. 今はどんな事をしているの？

首都圏でビルの取り壊しや会社の引っ越しの際に出る産業廃棄物を集め、機械と手作業で細かく分別します。鉄、ステンレス、アルミニウム、銅などを取り出してリサイクル会社に売り、再び世の中に役立ててもらいます。資源循環(じゅんかん)の仕事に、やりがいを感じています。



Q3. これから実現 したいことは？

社員が生き生きと働くためには、まず会社が安定的に成長することが重要です。そのために新しい事業を起こしていきます。新しい事業を通じて社員が「チャレンジ精神」を持ち、成長することも重要です。新しい事業では、時間に制約のある女性(子育て中のお母さんなど)や高齢者、障がいを持つ方々などにも活躍してもらいたいです。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

加工食品や不動産の事業などを始めます。まず「コーヒー事業」を進めます。コーヒーの袋にイラストや2次元コードを入れて情報発信する、一味違うコーヒーです。社員皆が様々なアイデアを持ち寄って、チャレンジ精神で開発してくれています。今後は「チョコレート事業」「燻製(くんせい)事業」「倉庫事業」などを考えています。

2 森本鐵鋼産業 株式会社

工場全景



代表取締役
森本 勝好さん

3 株式会社 タニタハウジングウェア

Q1. 何を目指している 会社なの？

雨のみちをデザインする仕事を通じて、木造建築が 60 年以上使われる社会を目指しています。

計画的に植林、伐採を繰り返し日本の森林を次世代に引き継いでいきます。木造建物の長持ちに「用」と「美」から貢献します。

Q2. 今はどんな事をしているの？

丈夫で長持ちし、美しさにこだわったガルバリウム鋼板など金属製の雨といや屋根材を製造しています。また、その製品を建物の設計者に提案し、建物を作る会社に販売しています。特に「雨とい」は、建物に必要な「雨のみち」です。雨のみちをデザインすることが当社の仕事です。

秋田工場全景



Q3. これから実現 したいことは？

- ①長持ちする住宅を建設する技術、ノウハウを共有できる仕組みを作り、美しい循環型の街づくりに貢献します。
- ②長期間安心安全に暮らせる建物、地球にやさしい建物が当たり前となる世界を目指します。
- ③「雨とい」を製造する秋田工場で生産時に発生する二酸化炭素を 2030 年までに、2013 年と比較して 46%減らします。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

- ①2年に一度「屋根のある建築作品コンテスト」を開催していきます。その作品を通じ多くの関係者のアイデアを取り入れ、長持ちする建築を普及させます。
- ②地球環境に配慮した安心、安全な素材を研究し、新しい製品を開発していきます。
- ③環境にやさしい生産方法や流通手段で秋田から製品を提供し、二酸化炭素の排出量削減を加速していきます。

代表取締役社長
谷田 泰さん

Q1. 何を目指している 会社なの？

人々が集まる「社会」と、それぞれの「人の生活」をサポートすることを目指しています。より多くの方が、より長く快適に住むことのできるお家(おうち)で暮らせる世の中になってほしいと願っています。

Q2. 今はどんな事を しているの？

みなさんの住んでいるお家を建てる時の設計や工事の内容、その後に起こった出来事を文章、図面、写真などで記録したものを、「住宅履歴(りれき)情報」と言います。みなさんや今後お家の手直しをする人のために、住宅履歴情報を作成・保管・活用するお手伝いをしています。



Q3. これから実現 したいことは？

多くのお家が長持ちして快適に住み続けることができ、お家が安心・安全に維持される社会を実現したいです。そのために、まず当社の「いえかるて」という住宅履歴情報をもっと広く知ってもらい、お家に住む人に受け継いでもらえるようにしていきます。次に、「まちかるて」という街の記録の仕組みも作りたいと考えています。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

- ①板橋区のイベントへの参加・企画を通して、板橋区の皆さんに住宅履歴情報を知ってもらえるようにします。
- ②お家を建てる工務店さん、金融機関さん(銀行や信用金庫など)や、不動産会社さん、建築業者さんに協力してもらい、住宅履歴情報の登録と活用を進めます。
- ③消防署と協力し、お家を守るための活動を進めていきます。

8 株式会社 フォーラム・ジェイ



住宅履歴情報

代表取締役社長
永塚 保夫さん

7 アサヒボンド 工業株式会社



新座工場

建物や橋などを「錆」から防ぐ溶剤(ようざい)を作っており、海に近い地下鉄や製粉工場の工事などに使われています。

錆止めの多くは、人や環境に悪い影響のある「VOC(ブイオーシー)」という気体を大気中に排出してしましますが、私たちの錆止めは VOC を出しません。

Q3. これから実現 したいことは？



3 すべての人に
健康と福祉を



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを

私たちの製品をもっと世に広めることで、人や環境にやさしい社会にしていきたいです。東京都では年間 6 万トンの VOC が排出されています。

私たちの錆止めは、今はオリンピックプール 1 つ分くらいの面積にしか使われていませんが、東京ドーム 10 個分くらい使ってもらうことで、VOC の排出を 280 トン減らすことができます。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

私たちの製品はとても安全・安心なものですが、まだまだ知られていません。建物に入る人や環境にやさしく、錆止めの作業をする人にとっても安全です。

様々な人々や会社と連携して、この製品が人や社会に役立つことを広く知ってもらい、もっとみんなに使ってもらえるようにします。

そして、さらに安全で長持ちする製品を作り続けていきます。



代表取締役社長
児玉 一真さん

Q1. 何を目標している 会社なの？

人と建物と環境にやさしい会社を目指しています。人や環境に影響のある物質を出さない「錆(さび)止め」や「防水」の製品によって、建物をより長く使えるようにし、より安心安全な社会を目指しています。

Q2. 今はどんな事を しているの？

Q1. 何を目標している会社なの？

お客様から必要とされ、社員自身も愛着を持てるような”心”に焦点を当てた製品を社会に生み出し、地域社会への貢献と当社の利益のどちらも大切にする会社です。

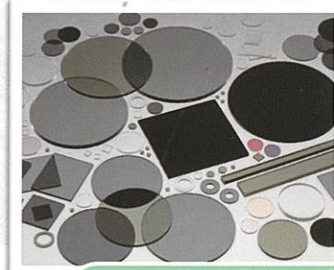
社員自ら問題を解決し、自己実現をうながすことのできる働きやすい職場づくりを目指しています。

Q2. 今はどんな事をしているの？

創業 56 年、顕微鏡(けんびきょう)メーカーや大学・研究機関などに、自社ブランド製品の光学フィルター(偏光板・波長板)を、お客様のご要望に合わせて多品種少量対応で製造・販売しています。

卓越した高い技術開発力により、お客様と強い信頼関係を築いています。

4 株式会社 ルケオ



主力製品の偏光板

Q3. これから実現 したいことは？



4 質の高い教育を
みんなに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を

- ① 当社製品を広く使ってもらい、検査や検品の精度を向上させることで、不良品・廃棄物の量や二酸化炭素の排出量を大幅に減らす世の中を作ります。
- ② 事業活動による二酸化炭素の排出量を、2022 年から 2030 年までで 30%削減します。
- ③ 「光学産業都市」板橋区の一員として、板橋区において研究・技術者の目標となります。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

- ① 当社製品の使い方を徹底的に調査し、産業界・行政機関・研究機関とも連携して、画期的な製品を生み出します。体外的な PR も強化し、当社のブランドを高めます。
- ② 節電・省エネの取り組みだけでなく、再生可能エネルギーの導入を加速します。
- ③ 会社見学会、絵本製作、教育科学館などとの連携によるセミナーなどを通じ、当社技術を発信します。



代表取締役社長
吉村 健太郎さん

5 株式会社 三六工芸印刷社

大型印刷機



Q1. 何を目標している会社なの？

情報加工事業と印刷事業を中心として、お客様が発信したい情報の伝え方を工夫し、お客様が満足する方法で製品を提供します。人の成長をはかり、社会に貢献をして環境に適応しながら、人を笑顔にすることを目指しています。

Q2. 今はどんな事をしているの？

お客様が取り扱いたい情報を印刷物に加工しています。ホームページやノベルティ（記念品）の制作にも取り組んでいます。印刷知識が豊富で、顧客対応力・調整力が高く、調査力が高い社員が多い会社です。品質の高さが大きく評価され、創業 61 年を迎えました。

Q3. これから実現したいことは？



- ①従業員の笑顔のため、2032 年までに「週休 3 日制」と「全従業員のスキルアップ」を実現し、いっそう働きやすい職場にします。
- ②顧客と協業で商品開発や製造効率化を行う新事業を、2027 年までに立ち上げます。
- ③電力使用量の大幅削減を 2027 年までに、環境配慮の事業体制を 2032 年までに、実現します。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

- ①目標管理シートの活用で社員の希望や夢を聞き出し、それを会社が強く応援する仕組みを増やしていきます。
- ②顧客のニーズを確認し、協力会社との連携による新しい生産体制を構築します。
- ③工場内の照明を 100%LED にし、省エネ型印刷機の導入を進めます。また、環境に配慮した印刷資材の活用と、業務をより効率化するための印刷機の導入を進めます。



代表取締役
齊藤 正康さん

Q1. 何を目標している会社なの？

「食はいのちをつなぐ基本」と考えています。健康な生活のお役に立ち、食生活を通じて医療に頼らないで健康寿命を延ばし、同時に循環（じゅんかん）型社会の実現による地球の健康づくりも目指しています。

Q2. 今はどんな事をしているの？

お客様へ自社ブランド等の健康食品・自然食品を提供し、食事による健康と長生きに貢献しています。全ての商品に対して、国内産原料の使用、農薬・化学肥料の不使用、食品添加物・合成保存料の不使用など 6 つの基準を明示し、添加物を使わない商品供給に取り組んでいます。



フェアトレード（公平・公正な貿易）の商品を販売し、仕入れ先の国や地域の貧困解消に貢献します。また、植物由来の原材料による食品づくりを徹底し、関係企業と共同で新商品の企画開発を行います。お客様と地域の健康づくりを実現するために、健康志向をもつ女性など多様な人が大いに活躍できる社内体制を整えていきます。

Q4. どんなチャレンジをしていく？

当社と目標を共有できる生産者を発掘し、独特な自社ブランドの健康食品と一緒に開発します。食の世界から人々と地球の健康を実現できることを広く発信し、食へのイメージの変革にチャレンジします。これらを進めるために、板橋区周辺から幅広い年代の人材を採用し、女性や若手の社員も活躍しやすい職場づくりを進めます。

6 株式会社 恒食



販売している
自然食品・健康食品

Q3. これから実現したいことは？

代表取締役
瀬尾 原起さん

